

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°60 マイ&ケンジ・ホジソン

生産地方：ロワール

新着ワイン2種類♪

VdF ファイア 2017 (白)

2017年のファイアはケンジの自信作！飲みごたえのある力強いワインに仕上がった！春の遅霜の影響で早いうちからブドウが少なく、また夏の猛暑も相まって、ブドウの成熟スピードは例年よりも早かった。ケンジ曰く、収穫したブドウは例年よりも潜在アルコール度数が高く、さらに冬に発酵の勢いが落ちてしまったため、前年の悪夢が一瞬頭をよぎったそうだが、実際酵母は冬の間も緩やかながら活動を続け、そのまま発酵が滞ることなく9ヶ月の歳月をかけ見事醗酵を終えた！出来上がったワインは、エキス分が限りなくピュアだが、まるでスキンコンタクトをしたかのような鉱物的なミネラルのボリュームにより、飲みごたえがある！

VdF ラ・グランド・ピエス 2017 (赤)

2017年は、他の畑が春の遅霜に遭う中、グロローの被害はほとんどなかった。前年同様に、仕込みは最初ガメイのマセラシオンから始め、醸しの途中に収穫したグロローを加え一緒にタンクで醸造している。この年のブドウは早熟で熟すスピードが早く、グロローは前年よりも2週間早い収穫にもかかわらずアルコール度数が13%まで上がった。ワインは、果実味がとてもジューシーで、グロローから来る白胡椒のようなスパイシー感もあり、タイトで硬質な印象もある！程よい酸味がありトマト料理との相性が良さそう！開けたてはほんのりクリスピーなのでカラフをおススメ♪

ミレジム情報 当主「マイ&ケンジ・ホジソン」のコメント

2017年は、2016年同様春の遅霜に見舞われた年。冬は暖冬で春の芽吹きは早かった。4月末に遅霜。5月は湿気が高く一時的にミルデューが蔓延したが、5月終わりから天気が回復したため大きな被害とはならなかった。開花は順調。夏は猛暑で乾燥していたが、春に降った雨の貯蓄があり日照りは免れた。収穫日は例年よりも1～2週間早い。猛暑の影響で酵母の数が少なかったのか、醸造面では発酵に苦労した。

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き



写真① ファイアの区画に新たに密植された若木

今年の4月11日と5月5日に二回に渡って霜の被害を受けたホジソン。今回、霜の後のブドウの状態の確認も兼ねて畑を訪問させてもらった。

これは今年5月ファイアの区画に植樹されたシュナンの写真。(写真①) 植樹間隔は木と木の間が90cm、畝の幅が1.9m。すぐ隣には大人のファイアの畑が隣接しているが、実際、この植樹の畑は大人のファイアよりも密植率が高い！ちなみに、このファイアの畑は、土壌が肥沃なのか、ブドウの木の樹勢が他よりも強い。そのため、今回の植樹は、密植率を上げブドウの木をお互いに競合させることで樹勢を抑えるということも計算に入れている。苗木は信頼のおける2業者からセレクションマサールとクローンの2種類を購入。彼らの苗木の特徴は、今

では珍しい台木にV字型の切れ込みを入れた昔ながらの接続方法で接ぎ木がされている。通常は、機械で接ぎ木の端をΩ型に落とし、台木はオメガを逆さにした型に落としてちょうどジグソーパズルのように二つの枝を嵌め合わ

せて苗木を作るのが一般的だ。それに対しホジソンの苗木はV字とその逆のΛに落とすシンプルな方法だが、型がないため業者が全て手作りで行わなくてはならない。彼らが言うには、業者の間ではV字型やW型の昔ながらの切れ込み方法でつくる苗木は、苗が大きき育った時に木が病気になるらしいそうだ。そして、レスカやフラベサンスドレ、スコリオーズなど近年増え続けるブドウの木の病気…これらの原因はもしかすると機械で型取った苗木が原因ではないかと業者間で今まことしやかに囁かれているそうだ。

そして、これは植樹の畑にすぐ隣接する大人のファイアの畑の写真。(写真②) 彼らから「今年はレ・ゾシゴアンの畑が霜により全滅…」と聞いていたので、ファイアも惨憺たる状況をイメージしていたが、実際はブドウの房も適度にあり、それほど大きな被害はなさそうな印象だった。今回、畑をぐるっと回って、何やら気になるものがすぐに目に入った。畑の写真をよく見ると分かるが、各畝の間に雑草が整然と生えている。これは昨年の秋から彼らが新しく試みている直播きの植物だ。



写真② 樹齢の高いファイアの区画



写真③ 畝間の直播きされた植物

(写真③) クローバー、ファセリア、オート麦の3種類の植物が混在していて、それぞれに異なる効果があるそうだ。彼らが言うには、クローバーは空気中の窒素を土壌に取り入れる作用があり、また、ファセリアは根が地中深くまで張るためトラクターによる耕うん作業と同じ効果が期待できる。そして、オート麦は保湿効果。根元を折り曲げることによりちょうど畑に藁の蓆を敷いたような状態になり、土壌を直射日光の照りつけから守ることができるのだそうだ。さらに、環境保護の観点から、排気ガスを排出するトラクターをあまり回したくないと考える彼らにとって、この環境に優しい直播きの植物はまさに一石二鳥という訳だ！「効果はこれだけではない。前述したようにファイアの畑はブドウの木の樹勢

が強く、植物が競合することでその樹勢を押さえる効果が期待できる。また、今年のように熱暑の年は、植物がブドウ焼けを防ぐ日傘の代わりになってくれる！」と、彼らは直播きのもたらす畑の効果に大きな期待を寄せていた！

毎年少しずつではあるが着実に進化を遂げるマイとケンジ。今回の苗木の植樹直播きなど、彼らの畑に対するこだわりや仕事に対する真剣な姿勢を見ていると、彼らのブドウへの愛情が伝わってきて、思わず温かい気持ちになってくる。そのブドウへの愛情がワインの味わいにも注入されるため、少しやんちゃなワインでも欠点ではなく長所として受け入れられるから不思議だ！ヴァンナチュールは、「造り手の個性がワインに出る」とか「ワインが生きている」、「ワインは成長する」とも言われるが、彼らのワインは間違いなくその王道を歩いている！今飲んでもちろぬ美味しいモノばかりだが、さらに寝かせてどのように成長するか思わず見守りたくなる…そんな魅惑に駆られるのが彼らのワイン！これからさらにどのように進化していくのか、今後も楽しみでならない！

(2019.5.30.ドメーヌ突撃訪問より)

※弊社HP「フォト・ギャラリー」より、カラーでサイズの大きい鮮明な写真をぜひご覧くださいませ